



— 第126回 生存圏シンポジウム —

木造住宅の長寿命化を考える



本シンポジウムでは、住宅を長期間使用し続けるために必要な法令の整備、新築・既存住宅の維持管理技術、学術分野から見た木造住宅の将来展望、今後の木造住宅に求められる性能や研究開発すべき課題について議論する。

2009.5.22 (金)

13:00 - 18:00 (18:00より討論会)

京都大学宇治キャンパス
京大大学生存圏研究所
木質材料実験棟 木質ホール 3F

参加無料

お申し込みは
こちらまで



防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター

清水 秀丸

0794-85-8942

hidemaru@bosai.go.jp

13:00 挨拶 (清水秀丸)

13:10 檜橋 康英 (国土交通省 住宅局 住宅生産課)
長期優良住宅の普及の促進に関する法律など、
一連の施策について

14:10 中島 正夫 (関東学院大学工学部)
木造建築物の耐久性能向上への技術的課題

15:10 休憩

15:20 梅田 泰成 (住友林業株式会社住宅事業本部技術部)
木造住宅メーカーが考える長寿命の家づくり

16:00 中村 孝之 (積水ハウス株式会社総合住宅研究所 住生活研究所)
先導的モデルへの取り組みと今後の課題

16:40 パネルディスカッション (森拓郎、清水秀丸)
長期優良住宅の普及の促進に向けた
産学官の連携について

17:50 挨拶 (相馬智明)

18:00 討論会 (会費 3000円)

